



新年あけましておめでとうございます。令和はじめてのお正月、皆さま、いかがお過ごしでしたか？  
今年も皆さまのお役に立ち、楽しんでいただける内容をお届けできるよう努めてまいりますので、2020年も広報誌「あなたと共に」をよろしくお願いいたします。

## 今秋 岡山中央病院の新棟がオープンします！

当法人岡山中央奉還町病院は、2020年11月に岡山中央病院の隣地に移転し、病院機能が統合されます。まずは、奉還町の地で1951年の開業以来69年に渡って皆様のご愛顧を戴きながら診療を続けることが出来たことを深く御礼申し上げます。

この度の移転に向け、数年前から「地域と社会の役に立ち、患者さん・ご家族に喜ばれ、職員の誇りになること」を「目的」に、将来の医療と病院の在り方を考え、最新の医療設備や仕組みを効果的に導入しました。また、スタッフの働き方、働きやすさも追求するため、全国の医療・介護施設を巡り、熟考を重ねて参りました。

新棟は、リハビリテーション・産科病棟・透析の機能の充実をはかっております。また、既存施設においては、心地良く診察を受けて頂けますよう診察室をリニューアルし、救急外来も拡大する予定です。皆さまに快適に安心してご受診いただけますよう計画しておりますので、楽しみにしていただけましたら幸いです。

今現在本格的な建築工事が始まっており、地域の皆さまにはご迷惑をおかけしておりますが、今後とも何卒宜しくお願いを申し上げます。



岡山中央病院の新棟イメージ図

# 「脳卒中」と 「一次脳卒中センター」のご紹介

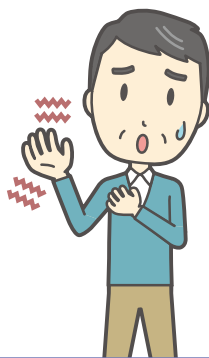
毎日に寒さが増し脳卒中が気になる季節になりました。令和元年、脳神経外科では2つの大きな出来事がありました。1つ目は、新型の3.0テスラMRI装置が導入されたことです。これにより精細な画像が従来の1/2の時間で得られるようになり、神経救急とくに脳卒中診療に大きな威力を発揮しています。2つ目は、9月1日から、一般社団法人日本脳卒中学会より、当院が一次脳卒中センター(PSC: Primary Stroke Center)として認定されたことです。そこで、今回は「脳卒中」と「一次脳卒中センター」について紹介いたします。

## 脳卒中

脳卒中とは脳血管に原因があって生じる疾患の総称で、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に分類されます。脳卒中は、がん、心疾患に次いで日本人の死因としては3位で、以前と比べると順位は下がっていますが、寝たきりになる原因としては第1位で認知症の原因にもなるため、健康寿命を保つためには注意・予防しなければならない疾患です。脳卒中の症状には次のようなものがあります。

### ① 片方の手足が動かない(片麻痺)、手足がしびれる

脳卒中の症状に共通していることは、「突然起こる」ことです。急に片方の手足が動かなくなったり、しびれたときは直ちに病院を受診してください。自分で移動できない場合は救急車を呼んでください。脳梗塞には、症状が生じてから4.5時間以内であれば血栓を溶かす薬(rtPA)を使うことができます。4.5時間を過ぎて受診された理由に「様子をみていた」という方がおられますが、rtPAは使用できなくなります。すぐ、今飲んでいる薬が分かる「お薬手帳」などを持って受診してください。



### ② ろれつが回らない(構音障害)

手足の麻痺の次に多いのが、「急に呂律が回らなくなった」「言葉が出にくい」などの言葉の障害です。舌や喉が麻痺して動きにくくなるために生じます。同時に顔の半分が歪むこともあります。



### ③ フラフラする(めまい)、歩けない(歩行障害)

手足に力が入るのに急にフラフラして立てなくなったり、歩けなくなった場合は、小脳や脳幹という体のバランスを保つ脳の血管が詰まった可能性があります。頭部MRI検査で検査ができますので受診してください。



### ④ 頭が痛い(頭痛)

突然生じる激しい頭痛は「くも膜下出血」を疑う症状です。「誰かに後ろ頭を殴られたかと思って振り返ったけど誰もいなかった」というくらい急に起こります。くも膜下出血のほとんどは脳動脈瘤が破裂することで起こり、頭部CTやMRIで診断できます。夜間であれば救急外来を受診してください。



## 一次脳卒中センター

日本脳卒中学会は医療体制の充実を目的として、各地の病院を「一次脳卒中センター」と「包括的脳卒中センター」に認定する制度を創設しました。具体的には、「地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始できる施設」を「一次脳卒中センター」と定義し、当院はこの条件を満たしていることから認定されました。なお、日本脳卒中学会が定める「一次脳卒中センター要件」に、「機械的血栓回収療法が実施出来ることが望ましい。実施できない場合には、血栓回収脳卒中センターや包括的脳卒中センターとの間で機械的血栓回収療法の適応となる患者の緊急転送に関する手順書を有する」とあります。当院では、この要件に対して、モバイル端末を活用した遠隔救急支援システムを導入し、岡山市立市民病院 脳疾患センターや川崎医科大学附属病院 脳卒中センターとの連携を開始しています。

これからも寒さは厳しくなります。皆様、脳卒中予防のために、外出の際は首筋、手首・足首など体の露出しやすい場所をマフラーや手袋、ソックスなどで冷やさないようにして、健やかな毎日をお過ごしください。



GE社製最新型の3.0テスラMRI装置が入りました。



### 脳神経外科部長 平野 一宏

#### 経歴

|       |        |       |     |
|-------|--------|-------|-----|
| 昭和57年 | 川崎医科大学 | 卒業    |     |
| 昭和60年 | 川崎医科大学 | 脳神経外科 | 入局  |
| 平成2年  | 川崎医科大学 | 脳神経外科 | 講師  |
| 平成24年 | 川崎医科大学 | 脳神経外科 | 准教授 |
| 平成26年 | 岡山中央病院 | 脳神経外科 | 着任  |

#### 専門

脳腫瘍、脳卒中  
頭部外傷

#### 資格

脳神経外科専門医  
脳卒中専門医

## 外来診療表

#### 診療時間

午前 9:00~12:00  
午後 14:00~16:00

|    | 月 | 火        | 水 | 木 | 金         | 土 |
|----|---|----------|---|---|-----------|---|
| 午前 | ● |          |   | ● | 認知症<br>外来 |   |
| 午後 |   | 頭痛<br>外来 |   |   |           |   |



## 管理栄養士からの 豆知識

## 「冬に負けない生姜のパワー」

体を温める食材、と言えば、真っ先に“生姜”を思い浮かべられる方が多いと思います。この生姜、生の場合と加熱・乾燥したものでは成分が違います。生の生姜には解熱作用や強い殺菌効果があり、体内の熱を取り除き(体の芯を冷やす)、体の表面を温めてくれる効果があります。

一方で熱を加えられた生姜は、血流を高め、体を芯から温めてくれる効果があるため、冷え性や肩こりに効果的です。また乾燥させた生姜にも、熟した生姜と同じ効果があります。生で食べるのか、熟して食べるのか、自分の体の状態に合わせて生姜を摂るようにしましょう。

今回紹介するレシピはだし汁を和風にするか、中華だし、鶏がらにするか、生姜は千切りにするか刻むか、すりおろすのか、合わせる食材は…というようにスープのバリエーションはたくさんあります。いろいろと試しながら体の中から温かくして寒い日々を乗り切りましょう。

簡単にできる  
一品をご紹介します白菜の  
生姜風味  
スープ

【1人当たり】エネルギー:46kcal 塩分:1.3g

材料  
(2人分)

|                |              |
|----------------|--------------|
| 白菜……………3～4枚    | ごま油 …… 小さじ1  |
| 生姜の薄切り ……2枚    | 塩…………… ひとつまみ |
| だし汁 ……………300ml | 醤油 …… 大さじ1/2 |

## 【作り方】

- 1 白菜は根元の堅い部分と葉の部分を分け、それぞれ、ざく切りに切る。
- 2 生姜をせん切りにする。
- 3 鍋にごま油を入れ、白菜の根元の部分を入れて中火で2分炒める。
- 4 だし汁、塩、醤油を加えて1～2分煮る。
- 5 白菜の葉を加えてしんなりしたら火を止め、器に盛り、生姜の千切りを乗せる。

## 内視鏡検査室・消化器内科外来 移転のお知らせ

11月11日より、内視鏡検査室と消化器内科外来が、中央病院西館2階に移転しました。  
待合や更衣室も広くなり、落ち着いた環境の中で検査や診察を受けていただけます。



## 医師のコラム

## 子宮頸がんワクチン接種のすすめ

近年、20歳～30歳代の若い女性で急増しており、妊娠をあきらめ子宮摘出をしたり、小さな子どもを残して亡くなる悲劇も増えています。子宮頸がんは、ワクチン接種と定期的な子宮がん検診によって予防できるがんです。原因は、ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染によるもので、日本では毎年1万人が罹患し、2900人が死亡しています。

子宮頸がん予防ワクチンは、2013年より予防接種法に基づく定期接種になっており、小学6年から高校1年生の間は無料で接種できます。一時期「重篤な副反応」があるように報道されましたが、その後ワクチンの副反応ではないと判明しました。ワクチンの安全性が証明されたにもかかわらず、6年以上経った今もワクチンの接種率は報道前の70%台から1%未満に下降したまま非常に低い状態が続いています。一方、頸がん検診受診率も40%台で、子宮頸がん予防に暗い影を落としています。すでに男女ともHPVワクチン接種がされている国では、子宮頸がんは撲滅できるといわれています。日本が取り残されないように、ワクチンと検診で、子宮頸がんを悲しむ女性をゼロにしたい。私の願いです。

産婦人科 医師 金重恵美子

追記:子宮頸がんゼロプロジェクト岡山の代表世話人として啓発活動をしています。

社会医療法人 鴻仁会  
岡山中央病院  
地域支援相談室  
岡山中央奉還町病院  
セントラル・クリニック伊島

<https://www.kohjin.ne.jp/>  
<https://www.kohjin.ne.jp/okayama-gan/> (がんセンター専用ページ)

〒700-0017 岡山市北区伊島北町6-3 TEL.086-252-3221(代表)  
TEL.086-252-5002 FAX.086-252-3929  
〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目18-19 TEL.086-251-2222  
〒700-0017 岡山市北区伊島北町7-5 TEL.086-214-5678

